

# 2015年3月期第3四半期 決算説明資料

米国会計基準 (US GAAP)

野村ホールディングス株式会社

2015年1月

## プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P2)
- 2015年3月期決算の概要(P3)
- セグメント情報(P4)
- 営業部門(P5-6)
- アセット・マネジメント部門(P7-8)
- ホールセール部門(P9-11)
- 金融費用以外の費用(P12)
- 強固な財務基盤を維持(P13)
- 資金調達と流動性(P14)

## Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P16)
- バリュース・アット・リスク(P17)
- 連結決算概要(P18)
- 連結損益(P19)
- 連結決算:主な収益の内訳(P20)
- 連結決算:セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)(P21)
- セグメント「その他」(P22)
- 営業部門関連データ(P23-27)
- アセット・マネジメント部門関連データ(P28-29)
- ホールセール部門関連データ(P30-31)
- 人員数(P32)

# エグゼクティブ・サマリー

## 決算ハイライト

### 2015年3月期第1-3四半期累計

- **税前利益、当期純利益ともに好調だった昨年同期に次ぐ高水準**
  - 収益: 1兆1,697億円、税前利益: 2,418億円、当期純利益<sup>1</sup>: 1,428億円、ROE<sup>2</sup>: 7.3%、EPS<sup>3</sup>: 38.03円
- **顧客資産残高(104.8兆円)、運用資産残高(37.7兆円、ネット)ともに過去最高を更新**
  - 資金流入の継続に市場要因が加わり、営業部門、アセット・マネジメント部門の残高が拡大

### 2015年3月期第3四半期

- **全社業績は、前四半期比、前年同期比ともに増収増益**
  - 収益: 4,250億円、税前利益: 1,161億円、当期純利益<sup>1</sup>: 700億円、ROE<sup>2</sup>: 10.6%、EPS<sup>3</sup>: 18.72円
- **3セグメントの税前利益は603億円(前四半期比13%減)**
  - 営業部門、アセット・マネジメント部門ともに増収増益の好決算だったが、欧州・米州フィクスト・インカムの不振により、ホールセール部門の収益性が大幅に悪化
- **セグメント「その他」の税前利益(448億円)、投資持分証券の評価益(110億円)が全社利益を押し上げ**
  - 円安進行・株価上昇を受けた保有銘柄の評価益、クレジットスプレッドの変化に起因する利益等が貢献
  - 関連会社損益や、3セグメント以外のビジネス等もプラスに寄与

### 自己株式の取得:

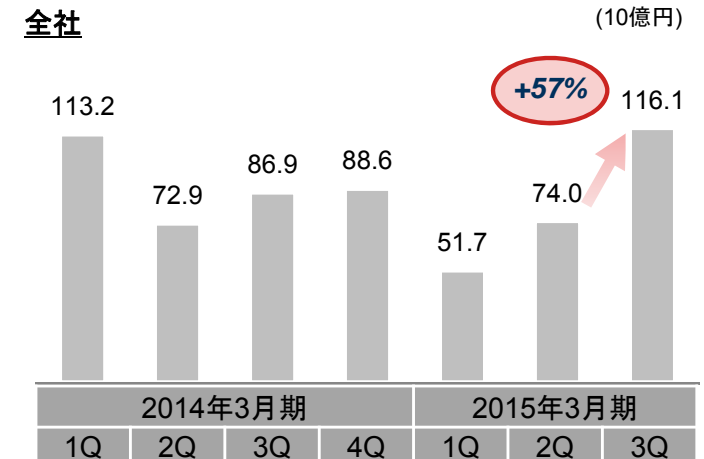
- ストック・オプションの行使に伴い交付する株式への充当、資本効率の向上及び機動的かつ柔軟な資本政策の実施を可能とするため、自己株式の取得を実施する
  - ✓ 取得株式総数: 上限4,000万株(うち、500万株程度は、将来的に行使されるストックオプション充当予定分)
  - ✓ 取得価額総額: 上限300億円
  - ✓ 期間: 2015年2月16日～3月27日

<ご参考> 2014年10月28日に決議した4,000万株(上限)、280億円(上限)の自己株式の取得について

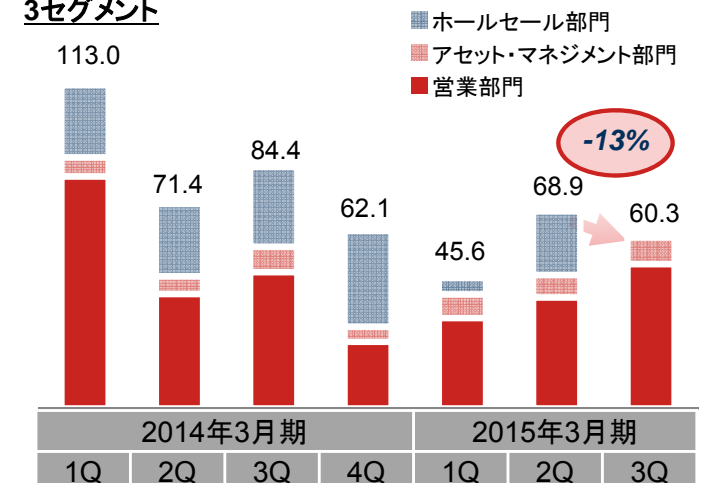
- ✓ 2014年11月13日～2015年1月16日の間に15,198,700株(総額102億円)を取得
- ✓ 当該株式は、将来的に行使されるストックオプションに充当予定

(1) 当社株主に帰属する当期純利益  
 (2) 各期間の当期純利益を年率換算して算出  
 (3) 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益

## 税前利益の推移



### 3セグメント



# 2015年3月期決算の概要

## 決算ハイライト

	2015年3月期 第3四半期	前四半期比	前年 同期比	2015年3月期 第1-3四半期累計	前年 同期比
収益合計 (金融費用控除後)	4,250億円	+14%	+12%	1兆1,697億円	+0.2%
金融費用以外の費用	3,089億円	+3%	+6%	9,279億円	+4%
税前利益	1,161億円	+57%	+34%	2,418億円	-11%
当期純利益 <sup>1</sup>	700億円	+32%	+45%	1,428億円	-6%
EPS <sup>2</sup>	18.72円	+32%	+48%	38.03円	-5%
ROE <sup>3</sup>	10.6%			7.3%	

(1) 当社株主に帰属する当期純利益  
 (2) 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益  
 (3) 各期間の当期純利益を年率換算して算出

## 収益合計(金融費用控除後)、税引利益

		2015年3月期 第3四半期	前四半期比	前年 同期比	2015年3月期 第1-3四半期累計	前年 同期比
収益	営業部門	1,288億円	+9%	+1%	3,536億円	-15%
	アセット・マネジメント部門	234億円	+8%	+10%	685億円	+14%
	ホールセール部門	1,789億円	-6%	-5%	5,584億円	-1%
	3セグメント合計	3,312億円	+0.3%	-2%	9,805億円	-6%
	その他	828億円	+102%	+134%	1,721億円	+59%
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	110億円	4.3x	+78%	171億円	-7%
収益合計(金融費用控除後)		4,250億円	+14%	+12%	1兆1,697億円	+0.2%
税引利益	営業部門	505億円	+30%	+6%	1,209億円	-28%
	アセット・マネジメント部門	93億円	+20%	+5%	254億円	+17%
	ホールセール部門	5億円	-98%	-98%	284億円	-64%
	3セグメント合計	603億円	-13%	-29%	1,748億円	-35%
	その他	448億円(※)	17.7x	-	499億円	-
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	110億円	4.3x	+78%	171億円	-7%
税引利益合計		1,161億円	+57%	+34%	2,418億円	-11%

- (※) 補足
- 関連会社損益の持分額(182億円) ~ 関連会社が保有する有価証券の評価益を含む
  - 自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する利益(89億円、第2四半期は64億円の利益)
  - 足利ホールディングス株式の評価益(99億円、第2四半期は32億円の損失)

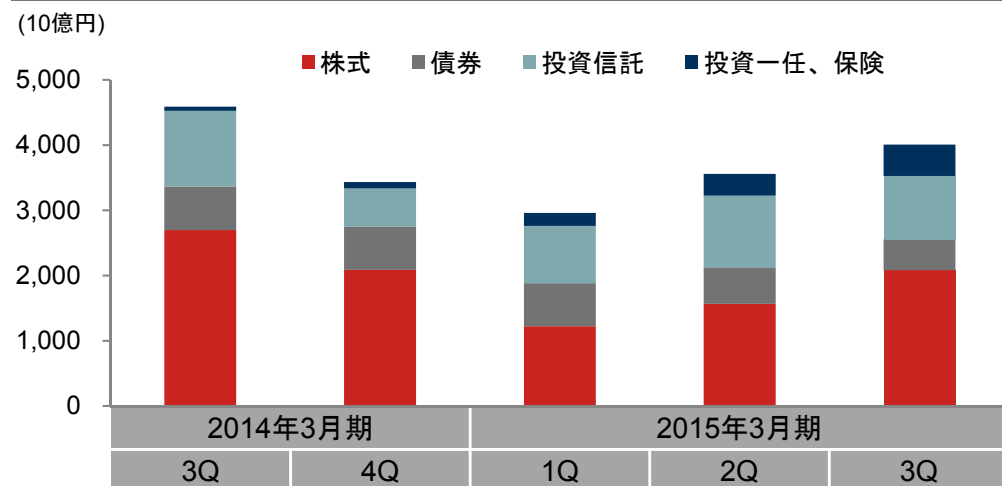
# 営業部門

## 収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	2014年3月期		2015年3月期			前四半期比	前年同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
収益合計(金融費用控除後)	128.0	97.9	106.9	117.9	<b>128.8</b>	+9%	+1%
金融費用以外の費用	80.3	74.6	75.3	79.1	<b>78.3</b>	-1%	-2%
税前利益	47.7	23.3	31.6	38.9	<b>50.5</b>	+30%	+6%

## 総募集買付額<sup>2</sup>



(1) 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引  
 (2) リテールチャネルのみ対象  
 (3) リテールチャネル、ネット&コール、ほっとダイレクトが対象

## 決算のポイント

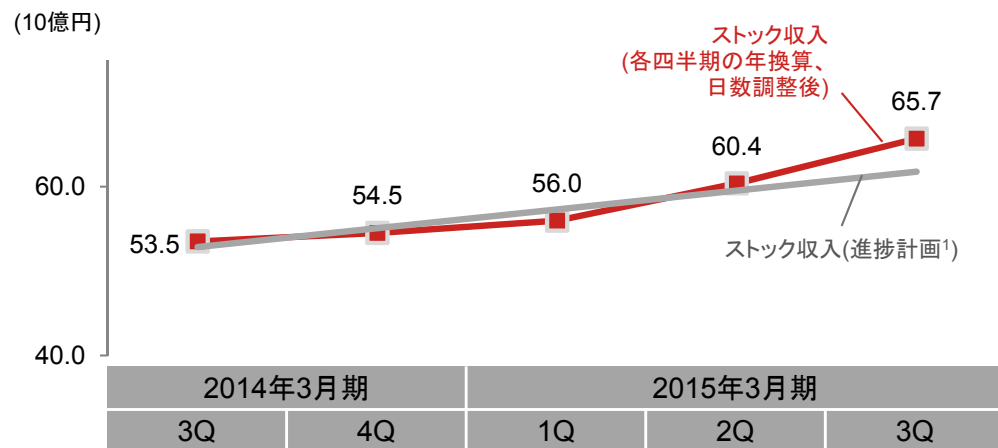
- 収益: 1,288億円 (前四半期比9%増、前年同期比1%増)
  - 税前利益: 505億円 (前四半期比30%増、前年同期比6%増)
  - 前四半期比で増収増益～税前利益は昨年第1四半期に次ぐ高水準
    - 市場が活況を呈する中、株式が好調
    - ヒアリングを通じて顧客ニーズに合わせた提案を継続～投資一任や保険が増加
    - マーケットの上昇も加わり、顧客資産残高は過去最高を更新
  - 顧客基盤
    - 顧客資産残高 104.8兆円 (99.3兆円)
    - 残あり顧客口座数 524万口座 (521万口座)
    - NISA申込口座数 146万口座 (141万口座)
    - 現金本券差引<sup>1</sup> 1,766億円 (4,848億円)
- ( )内は9月末 / 前四半期

## 総募集買付額<sup>2</sup>は前四半期比13%増

- 株式: 前四半期比33%増
  - 好調なセカンダリー・ビジネスに加え、プライマリー案件も貢献 (IPO/PO募集額<sup>3</sup>: 2,159億円、前四半期比2.7倍)
- 投信: 前四半期比12%減
  - グローバル高配当株、ハイイールド関連商品等が買付の中心
  - 基準価格の上昇局面で利益確定の動きが継続～投信純増は低水準
- 債券販売額は4,755億円、前四半期比15%減
  - 大型リテール債があった前四半期比では国内債が減速するも、外債は堅調

# 営業部門：残高拡大に向けた取組みが奏功し、ストック収入が伸長

## ストック収入は進捗計画<sup>1</sup>を上回るペースで拡大

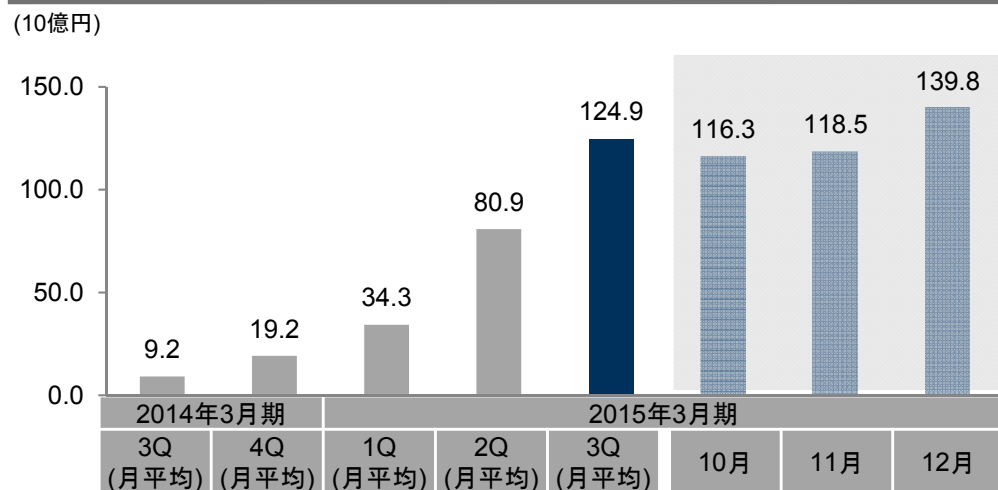


- 部門を挙げてお客様の資産設計やライフプラン・サービスの提供に取り組み
  - 投資一任純増<sup>2</sup>や保険販売額<sup>3</sup>はビジネスモデルの変革に着手して以来、最高の水準
  - ストック収入も拡大～2016年3月期の目標(696億円)に迫る水準まで進捗

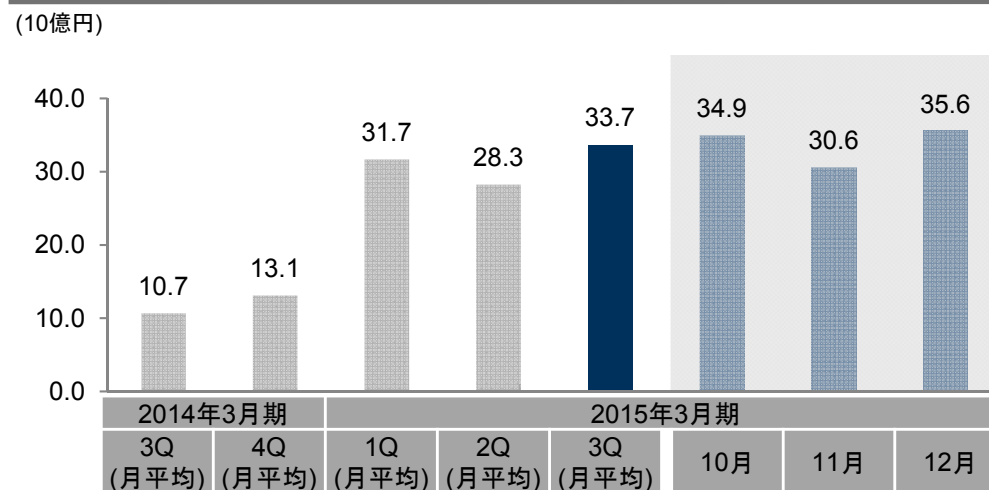
■ ストック収入	166億円	(152億円)
- 投資一任純増 <sup>2</sup>	3,746億円	(2,426億円)
- 投信純増 <sup>2</sup>	379億円	(1,787億円)
■ 保険販売額 <sup>3</sup>	1,011億円	(848億円)

( )内は9月末 / 前四半期

## 投資一任純増<sup>2</sup>



## 保険販売額<sup>3</sup>



(1) 2016年3月期ストック収入目標(696億円)に向けた進捗計画  
 (2) リテールチャネル、国内のウェルネス・マネジメント・グループが対象

(3) リテールチャネルのみ対象

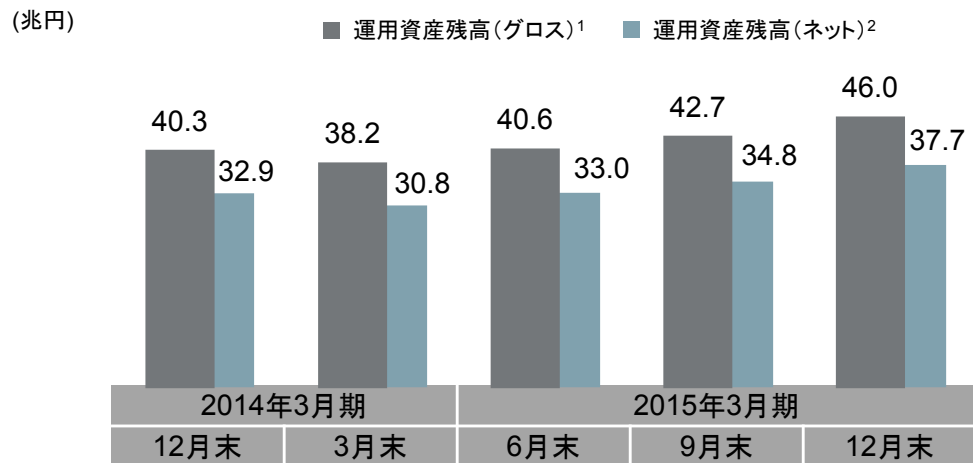
# アセット・マネジメント部門

## 収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	2014年3月期		2015年3月期			前四半期比	前年同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
収益合計(金融費用控除後)	21.2	20.5	23.3	21.7	<b>23.4</b>	+8%	+10%
金融費用以外の費用	12.3	15.1	15.1	13.9	<b>14.1</b>	+2%	+15%
税前利益	8.9	5.3	8.3	7.8	<b>9.3</b>	+20%	+5%

## 運用資産残高



## 決算のポイント

- 収益: 234億円 (前四半期比8%増、前年同期比10%増)
- 税前利益: 93億円 (前四半期比20%増、前年同期比5%増)
  - 投資一任向け商品を含め投信への資金流入が継続、運用資産残高は過去最高を更新
  - 運用報酬の拡大に加え配当収入や成功報酬等もあり、2008年3月期第2四半期以降の最高益を達成

## 投資信託ビジネス

- インカムゲイン等を追求する投信や、投資一任向け投信を中心に資金が流入
  - 第3四半期資金流入額
    - 野村テンプレートン・トータル・リターン: 1,593億円
    - 野村グローバル高配当株プレミアム: 1,253億円
    - 野村外国債券インデックス(野村投資一任口座向け): 732億円
- 私募投信の販売が引き続き好調、残高は前四半期比17%増(前年同期比約2.6倍)
- ファンドラップやSMA専用投信の残高<sup>3</sup>が前四半期比78%増(前年同期比約5.6倍)

## 投資顧問ビジネス

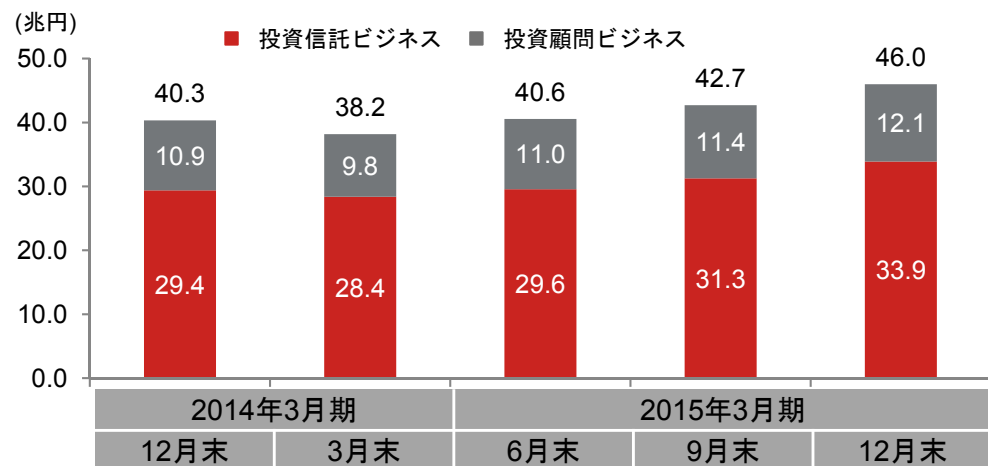
- UCITS<sup>4</sup>ファンドを通じ海外ビジネスが引き続き拡大
  - ✓ 日本株やUSハイイールドへの資金流入が継続し、UCITS<sup>4</sup>ファンド残高は前四半期比24%増(前年同期比66%増)
  - ✓ アジアのリテール投資家への販売に加え、ラテンアメリカの年金基金から新規に運用を受託するなど、地域、顧客層ともにビジネスを拡大
- スマートベータ型商品の残高が続伸

(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計 (2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後 (3) 野村アセットマネジメント単体ベース (4) Undertakings for Collective Investment in Transferable Securities (UCITS)、欧州委員会指令に定義される譲渡可能証券の集団投資事業のことで、欧州連合における投資信託の統一基準

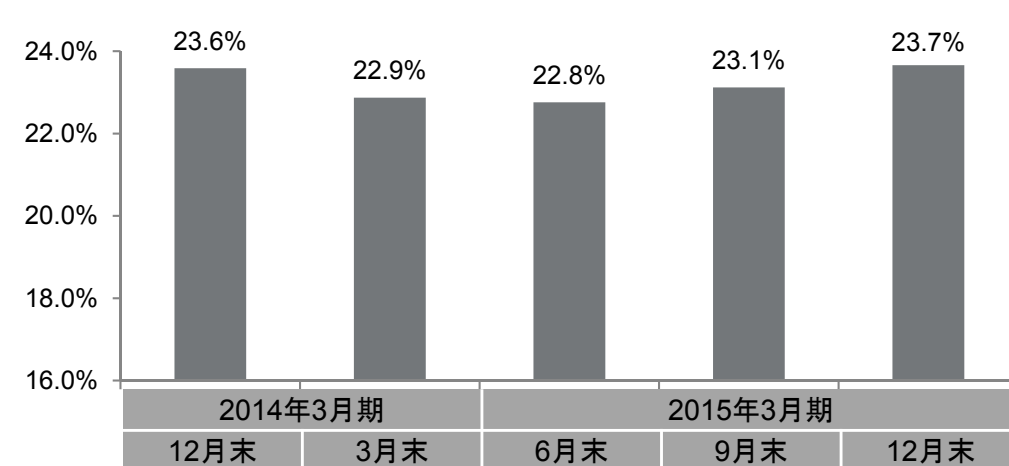


# アセット・マネジメント部門：投資一任向け商品、UCITSファンドの拡大

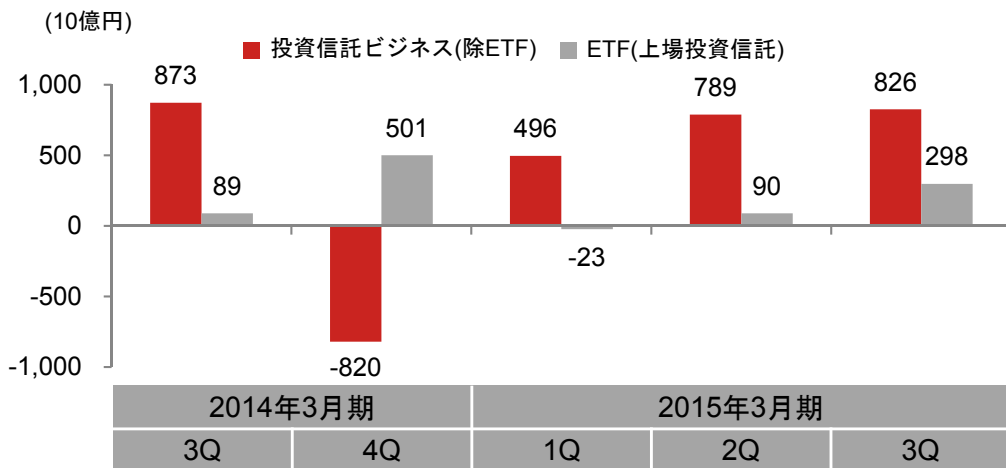
## 運用資産残高(グロス)<sup>1</sup>—ビジネス別



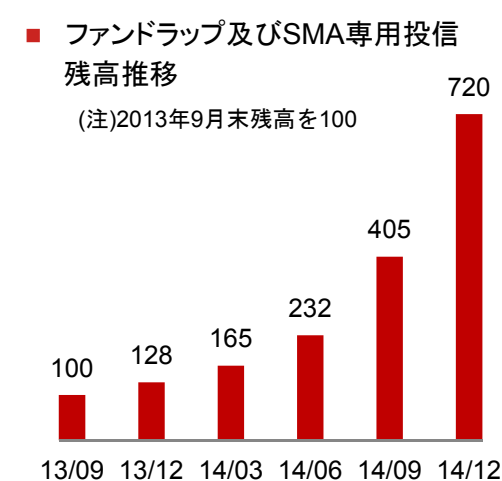
## 野村アセットマネジメントの公募投信シェア<sup>2</sup>



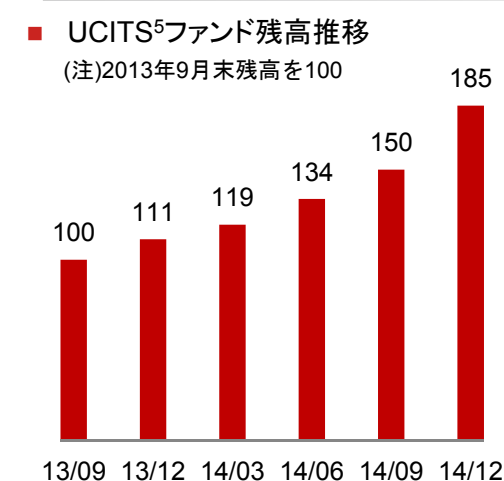
## 投資信託ビジネスの資金流入<sup>3</sup>



## 投資一任向け商品の拡大<sup>4</sup>



## UCITS<sup>5</sup>ファンドの拡大



(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計 (2) 出所：投資信託協会  
 (3) 運用資産残高(ネット)に基づく資金流入額 (4) 野村アセットマネジメント単体ベース  
 (5) Undertakings for Collective Investment in Transferable Securities (UCITS)、欧州委員会指令に定義される譲渡可能証券の集団投資事業のことで、欧州連合における投資信託の統一基準

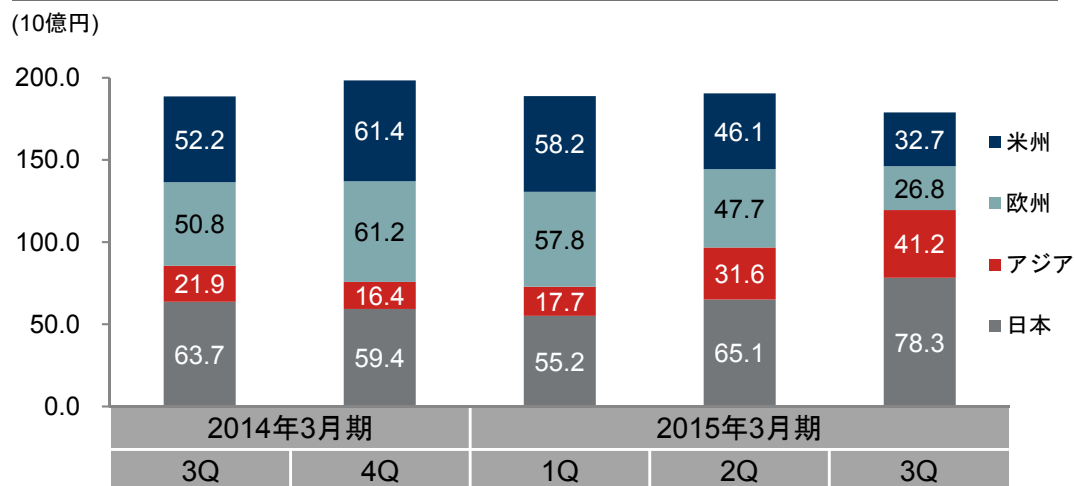
# ホールセール部門

## 収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	2014年3月期		2015年3月期			前四 半期比	前年 同期比
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
グローバル・マーケット	158.0	166.8	166.6	168.1	<b>149.7</b>	-11%	-5%
インベストメント・バンキング	30.7	31.7	22.3	22.5	<b>29.2</b>	+30%	-5%
収益合計(金融費用控除後)	188.7	198.5	188.9	190.6	<b>178.9</b>	-6%	-5%
金融費用以外の費用	160.9	165.0	183.1	168.4	<b>178.5</b>	+6%	+11%
税前利益	27.8	33.5	5.7	22.2	<b>0.5</b>	-98%	-98%

## 地域別収益



## 決算のポイント

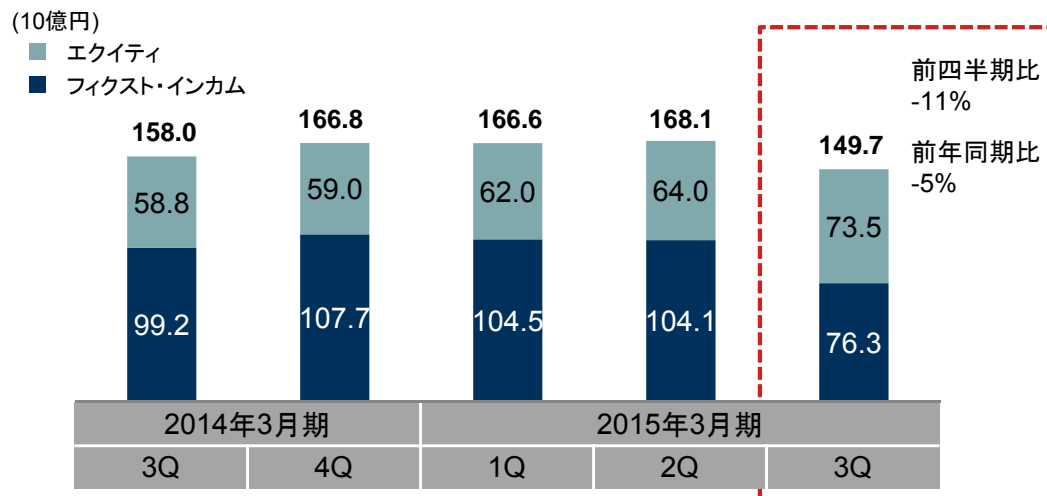
- 収益: 1,789億円 (前四半期比6%減、前年同期比5%減)
- 税前利益: 5億円 (前四半期比98%減、前年同期比98%減)
- 前四半期比で減収減益
  - 欧州・米州のフィクスト・インカムが苦戦～金利の急激な低下やボラティリティの急上昇を受け、トレーディング環境が大幅に悪化
  - 市場売買高の増加や注力分野での収益機会を的確に捉え、エクイティ、インベストメント・バンキングは好調
  - 円安の進行、株式の取引量拡大などでコストが増加

## 地域別概況(収益、前四半期比)

- 日本(783億円、20%増)
  - 全ビジネスラインが前四半期比で増収となり、収益は6四半期ぶりの高水準
- アジア(412億円、30%増)
  - 2009年4月以降、最高の四半期収益を更新
  - グローバル・マーケットが好調～為替を中心にエマージング関連ビジネスが伸長
- 米州(327億円、29%減)
  - フィクスト・インカムの減速を、堅調なエクイティが一部相殺
  - ビジネスの戦略的拡大を行っているインベストメント・バンキングで、大型案件を多数獲得
- 欧州(268億円、44%減)
  - フィクスト・インカム、エクイティ共に大幅減収
  - 欧州金融機関の資金調達サポートやソリューション・ビジネスが収益に貢献

# ホールセール部門: グローバル・マーケット

## 収益合計(金融費用控除後)



## 決算のポイント

### グローバル・マーケット

- 収益: 1,497億円 (前四半期比11%減、前年同期比5%減)
- 厳しい市場環境の中、欧州・米州の固定・インカムが大きく減収

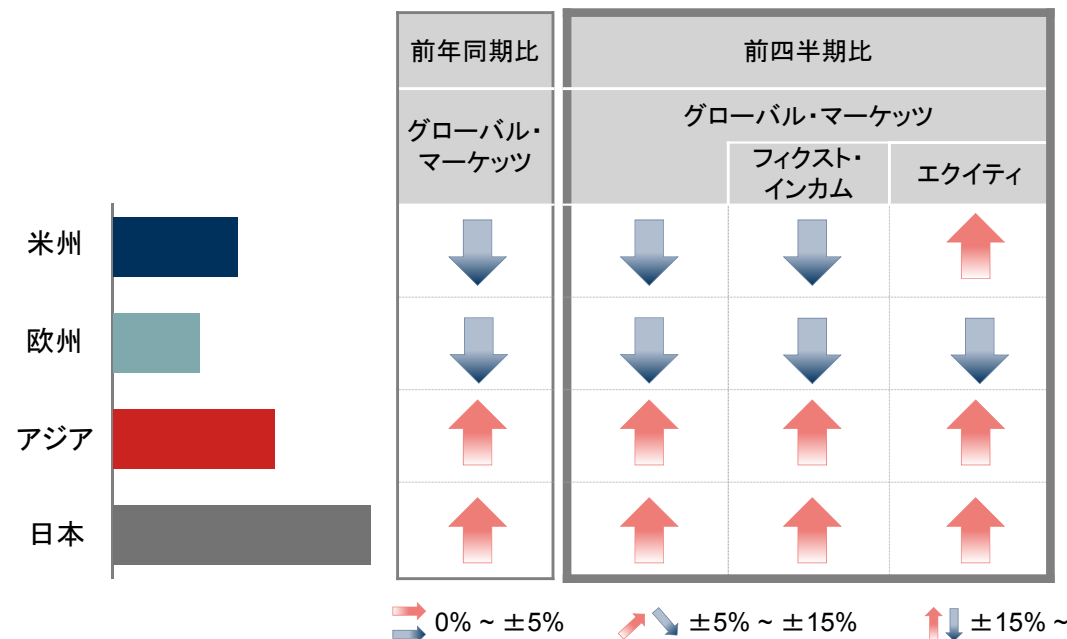
### 固定・インカム

- 収益: 763億円 (前四半期比27%減、前年同期比23%減)
- 為替を除くほぼ全てのプロダクトが減収するも、日本の金利、アジアの為替は好調

### エクイティ

- 収益: 735億円 (前四半期比15%増、前年同期比25%増)
- 各市場の売買高回復に伴い、キャッシュ・ビジネスが好調

## 2015年3月期第3四半期 地域別収益

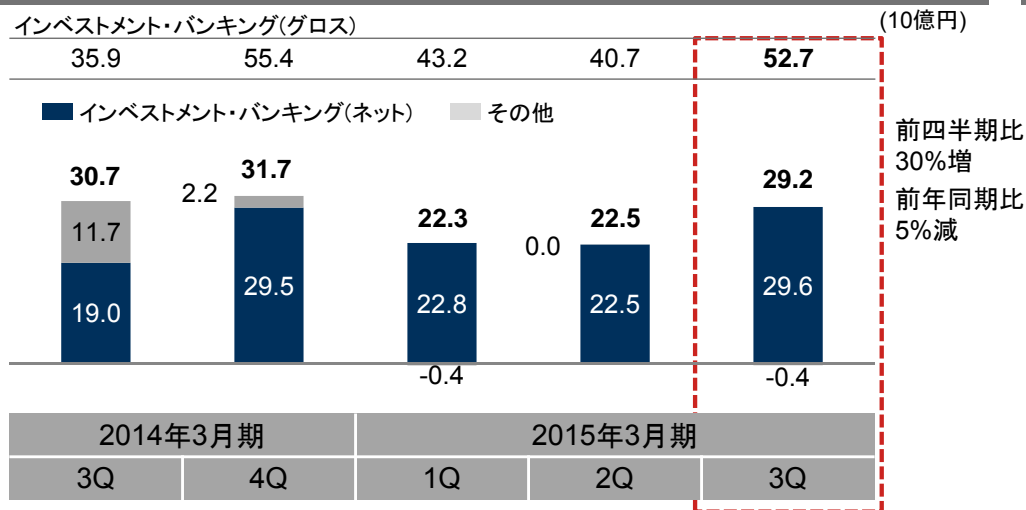


- 米州: 固定・インカムは全プロダクトで減速、エクイティは好調
- 欧州: 低調な金利やエクイティ・デリバティブの顧客アクティビティ低下等を受けて前四半期比で減速、エマージングの金利・為替は健闘
- アジア: 2009年4月以降で最高の四半期収益~エマージングの金利・為替が好調、エクイティのトレーディング収益は回復
- 日本: 金利に加えて為替が好調、キャッシュ・エクイティも増収

# ホールセール部門: インベストメント・バンキング

  フィナンシャル・スポンサー  
 関連案件  
  米州関連案件

## 収益合計(金融費用控除後)



## 決算のポイント

- 収益は前四半期比30%増の292億円～2四半期連続で増収
- インベストメント・バンキング(グロス)収益は527億円
  - 日本・海外共に、前四半期比・前年同期比で増収
  - 好調なECMビジネスに加え、M&A収益がグローバルに回復
  - 日本: 大型IPO案件やCB案件等を獲得
    - ✓ IPO市場で圧倒的な強さ～ECM/DCMリーグテーブル<sup>1</sup>では首位を継続(シェア: ECM 35.3%、DCM 21.0%)
    - ✓ リキャップCB<sup>2</sup>等を通じ、企業の資金調達とROEの向上をサポート
  - 海外: 欧州・米州が収益に大きく貢献
    - ✓ フィナンシャル・スポンサーやソリューションビジネスが好調
    - ✓ 欧州金融機関の規制対応ニーズを的確に捉え、大型DCM案件など複数獲得

## 高プロファイルな案件を獲得～地域間・プロダクト間連携が奏功

### M&A案件やM&Aに付随する複合化案件

- 1兆円超を含む大型クロスボーダー案件を複数獲得
  - 日本企業が絡まない海外地域間の案件、特にプラットフォームを拡大している米州で実績を積み上げ
- フィナンシャル・スポンサー向けビジネスも収益に貢献
- 日本=アジア間のM&Aリーグテーブル1位(シェア: 30.8%)<sup>1</sup>

<b>Repsol / Talisman Energy</b> (M&A \$12.8bn)	<b>BC Partners / PetSmart</b> (M&A \$8.8bn, ALF 非開示)	
<b>Clearlake Capital Group/ Sage Automotive Interiors</b> (M&A 非開示, ALF \$220m)	<b>SABMiller, Coca-Cola, Coca-Cola Sabco</b> による 新会社設立(M&A 非開示)	<b>Platform Specialty Products / Arysta LifeScience (Permira)</b> (M&A €2.8bn, FO \$424m)
<b>三井物産 / Valeの一部資産</b> (M&A \$981m)	<b>Baring Private Equity Asia / 武州製薬</b> (M&A 773億円)	<b>ChemChina傘下のBluestar Elkem / REC Solar</b> (M&A NOK5.6bn)

### 大型ECM/DCM案件

<b>リクルートHD</b> Global IPO (2,138億円)	<b>テルモ</b> ユーロ円CB (1,028億円)	<b>Republic of Ireland</b> Benchmark Bond (€3.8bn)	<b>Dalian Wanda</b> 香港IPO (HKD31.3bn)
---	-----------------------------------	--	---

### 欧州金融機関による資金調達

<b>Banco Santander</b> Covered Bond (€3bn)	<b>Cattolica Assicurazioni</b> Rights Issue (€499m)	<b>Rabobank</b> Tier 2 サムライ債 (508億円)
--	---	--

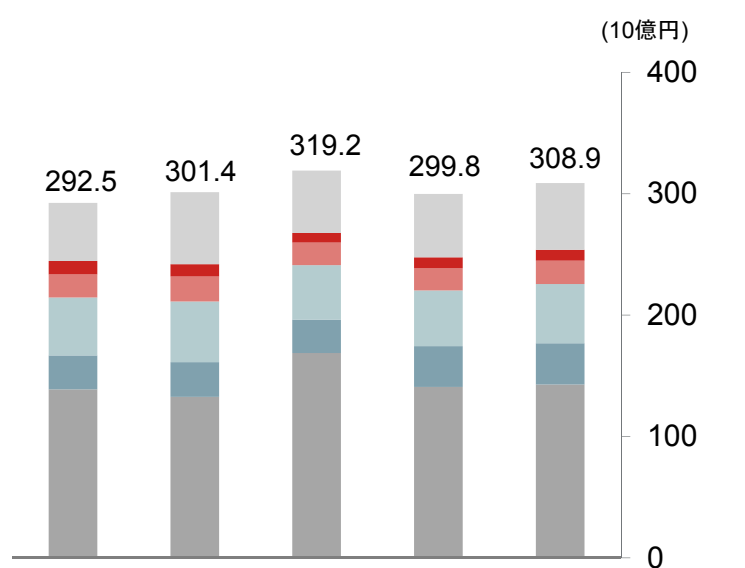
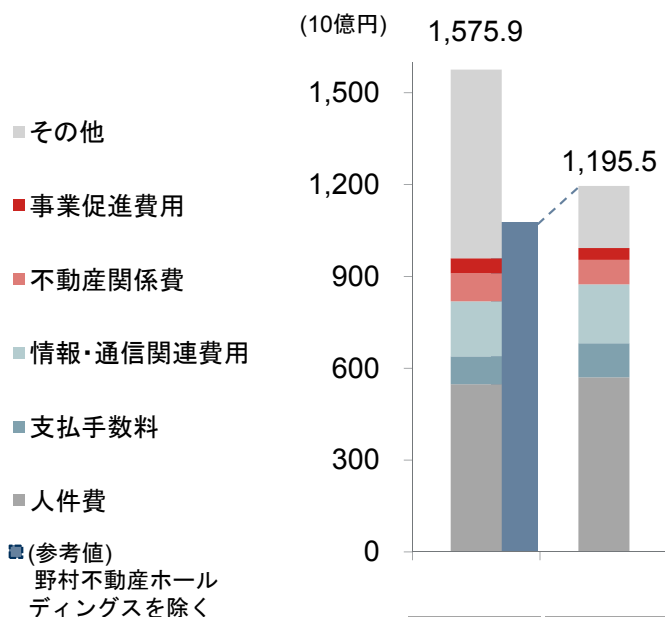
(1) 出所: ECM/M&Aはトムソン・ロイター、DCMはトムソン・ディールウォッチでの日本国内デット総合ランキング(含: 自社債)。期間: 2014年1-12月  
 (2) 転換社債型新株予約権付社債(CB)の発行により得た資金を用いて自社株買いを行う手法、ROEなど資本効率の向上を狙う

# 金融費用以外の費用

## 通期

## 四半期

## 決算のポイント



- 金融費用以外の費用: 3,089億円 (前四半期比3%増)
- 円安進行が主な増加要因
- 為替インパクトを除く全社費用は前四半期比で微減
- 主に人件費が減少  
ホールセール部門業績を受けて賞与引当を抑制

	2013年 3月期	2014年 3月期
人件費	547.6	570.1
支払手数料	91.4	111.8
情報・通信関連費用	179.9	192.2
不動産関係費	91.5	80.1
事業促進費用	49.0	38.5
その他	616.5	202.8
<b>合計</b>	<b>1,575.9</b>	<b>1,195.5</b>

2014年3月期		2015年3月期			前四 半期比
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
138.8	132.6	168.8	140.8	<b>142.8</b>	<b>1.4%</b>
28.0	28.7	27.6	33.6	<b>34.1</b>	<b>1.5%</b>
47.8	49.9	44.9	46.0	<b>48.7</b>	<b>6.0%</b>
19.0	20.5	18.6	18.2	<b>19.2</b>	<b>5.5%</b>
11.0	10.1	7.9	9.1	<b>9.0</b>	<b>-0.5%</b>
47.9	59.4	51.4	52.1	<b>55.0</b>	<b>5.5%</b>
292.5	301.4	319.2	299.8	<b>308.9</b>	<b>3.0%</b>

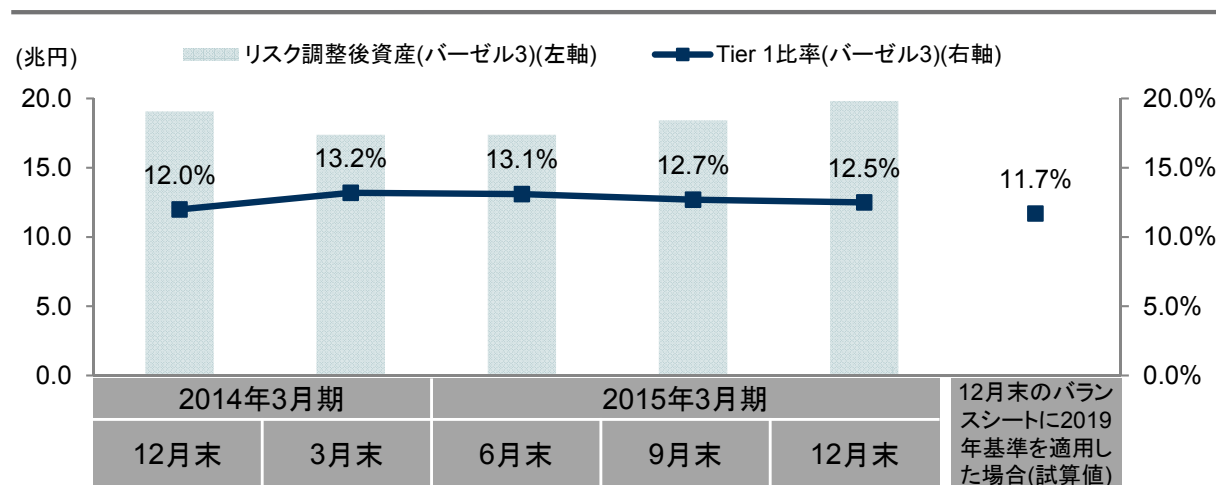
# 強固な財務基盤を維持

## バランス・シート関連指標と連結自己資本規制比率

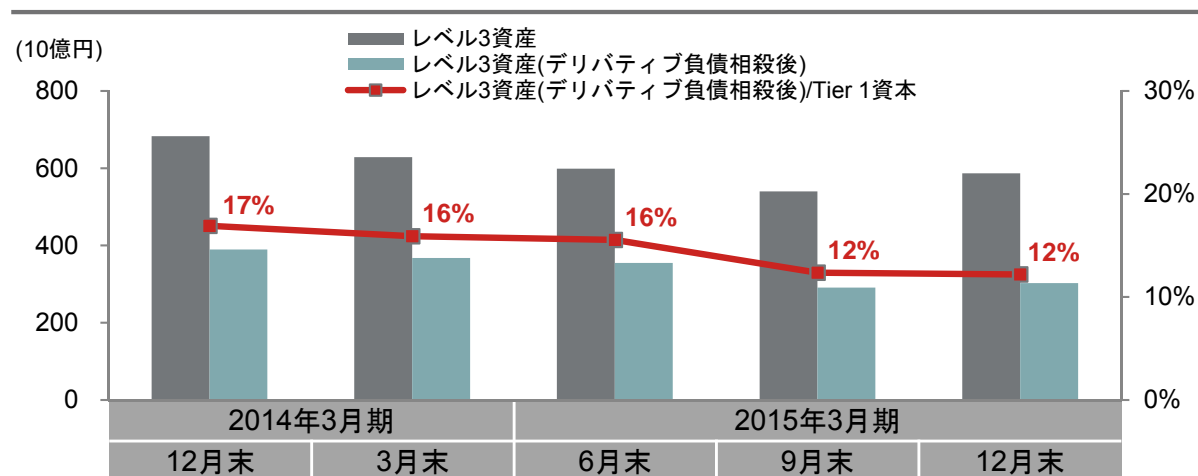
	3月末	9月末	12月末
■ 資産合計	43.5兆円	43.8兆円	44.1兆円
■ 当社株主資本	2.5兆円	2.6兆円	2.7兆円
■ グロス・レバレッジ	17.3倍	17.1倍	16.2倍
調整後レバレッジ <sup>1</sup>	10.4倍	10.7倍	10.5倍
■ レベル3資産 <sup>2</sup> (デリバティブ負債相殺後)	0.4兆円	0.3兆円	0.3兆円
■ 流動性ポートフォリオ	6.1兆円	5.8兆円	6.4兆円

(10億円)	9月末 (バーゼル3)	12月末 <sup>2</sup> (バーゼル3)
Tier 1	2,352	2,484
Tier 2	372	368
自己資本合計	2,723	2,852
リスク調整後資産 <sup>3</sup>	18,434	19,826
Tier 1 比率	12.7%	12.5%
Tier 1 コモン比率 <sup>4</sup>	12.7%	12.5%
連結自己資本規制比率	14.7%	14.3%

## リスク調整後資産<sup>3</sup>、Tier 1比率



## レベル3資産<sup>2</sup>の推移と対Tier 1資本比率



(1) 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率  
 (2) 暫定数値 (3) 信用リスク・アセットの算出に用いるエクスポージャーの額は、期待エクスポージャー方式(IMM)を用いて算出  
 (4) Tier 1 コモン比率: Tier 1 資本から非支配持分を控除し、リスク調整後資産で除したもの

# 資金調達と流動性

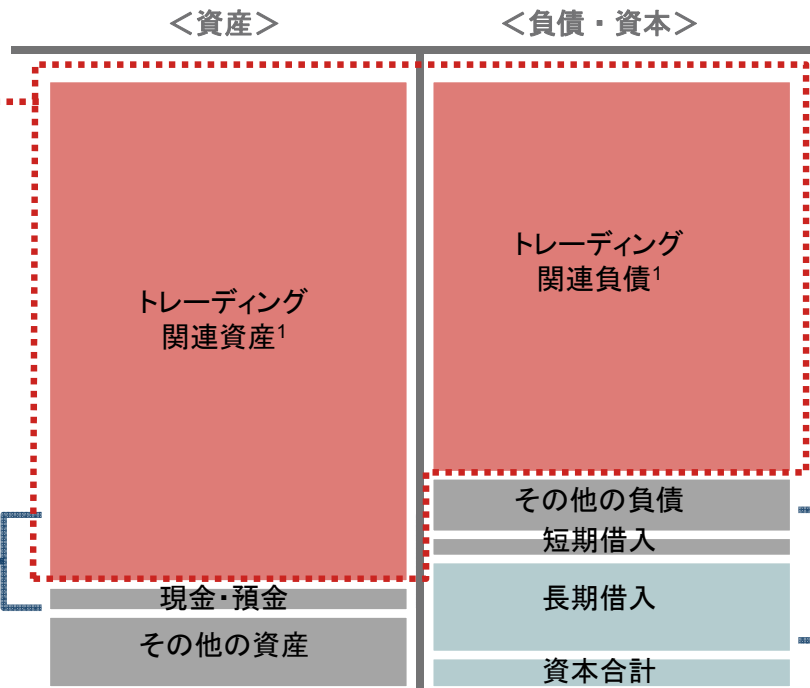
貸借対照表  
(2014年12月末現在)

## バランスシート構造

- 流動性の高い、健全なバランスシート構造
  - 資産の83%は流動性の高いトレーディング関連資産であり、Mark-to-marketの対象。レポ等を通じて、トレーディング関連負債とマッチング(地域、通貨)
  - その他の資産は、資本及び長期負債で調達しており、構造的に安定

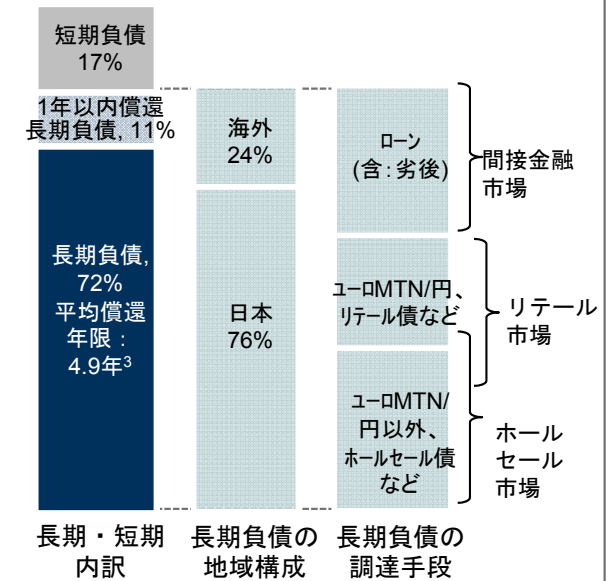
## 流動性ポートフォリオ<sup>2</sup>

- 流動性ポートフォリオ：
  - 6.4兆円、総資産の15%
  - 新たな無担保資金調達に頼らず、一定期間、事業継続可能な高い流動性を常時保持



## 無担保調達資金<sup>2</sup>

- 無担保調達資金の8割強が長期負債
- 調達先は分散



(1) トレーディング関連資産:リバースレポ、証券、デリバティブ等、トレーディング関連負債:レポ、負債証券、デリバティブ等  
 (2) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオの中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない  
 (3) 1年以内償還長期負債を除く。ストレステストでの早期償還確率を織り込む

# **Financial Supplement**



バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(10億円)	2014年			前期比 増減	2014年 3月末	2014年			前期比 増減
	2014年 3月末	2014年 12月末	前期比 増減			2014年 3月末	2014年 12月末	前期比 増減	
資産									
現金・預金	2,189	1,948	-241						
貸付金および受取債権	2,571	2,781	210						
担保付契約	17,347	15,563	-1,784						
トレーディング資産 <sup>1</sup> および プライベート・エクイティ投資	18,714	21,176	2,461						
その他の資産	2,699	2,636	-63						
<b>資産合計</b>	<b>43,520</b>	<b>44,103</b>	<b>583</b>						
負債									
短期借入	602	578	-25						
支払債務および受入預金	2,837	3,402	565						
担保付調達	17,112	16,754	-358						
トレーディング負債	11,047	10,892	-155						
その他の負債	1,142	1,141	0						
長期借入	8,227	8,564	337						
<b>負債合計</b>	<b>40,967</b>	<b>41,331</b>	<b>364</b>						
資本									
当社株主資本合計	2,514	2,714	201						
非支配持分	40	58	18						
<b>負債および資本合計</b>	<b>43,520</b>	<b>44,103</b>	<b>583</b>						

(1) 担保差入有価証券を含む

バリュー・アット・リスク

■ VaRの前提

- 信頼水準 : 99%
- 保有期間 : 1日
- 商品の価格変動等を考慮

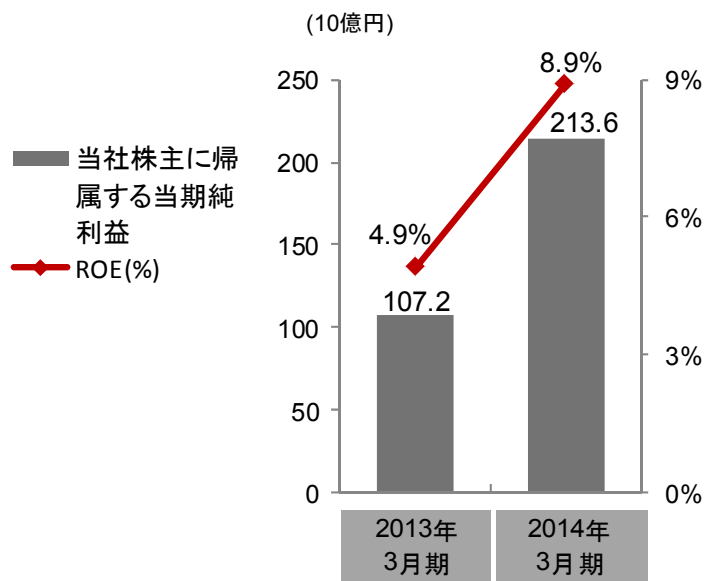
■ VaRの実績(10億円)

- 期間 : 2014.4.1~2014.12.31
- 最大 : 9.8
- 最小 : 3.1
- 平均 : 6.5

(10億円)	2013年 3月期	2014年 3月期	2014年3月期		2015年3月期		
	3月末	3月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
株式関連	1.3	1.3	3.6	1.3	2.8	1.5	<b>3.3</b>
金利関連	5.0	3.9	6.6	3.9	5.2	4.2	<b>4.5</b>
為替関連	1.9	2.8	2.6	2.8	2.0	2.7	<b>3.1</b>
小計	8.1	8.0	12.9	8.0	10.0	8.5	<b>10.9</b>
分散効果	-3.0	-2.9	-4.3	-2.9	-0.7	-1.6	<b>-1.2</b>
<b>連結VaR</b>	5.1	5.2	8.6	5.2	9.3	6.8	<b>9.7</b>

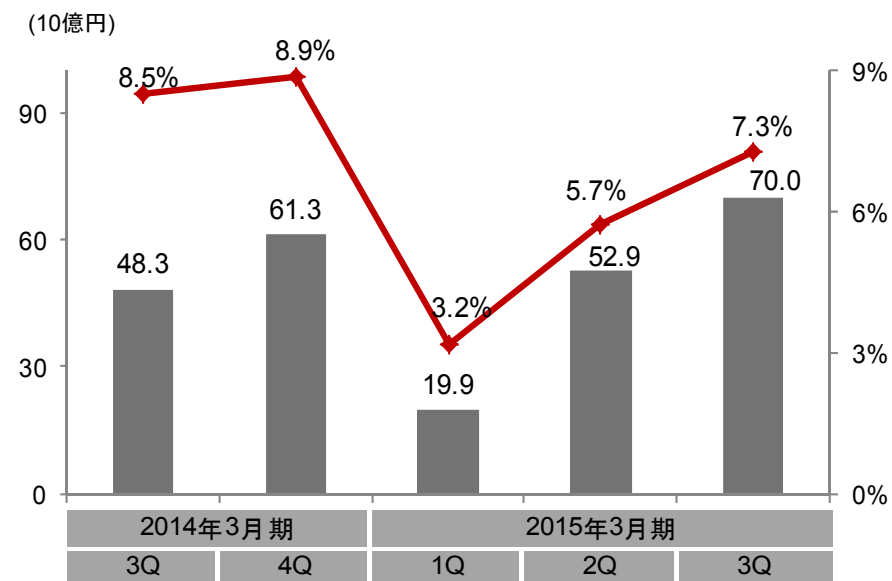
# 連結決算概要

## 通期



収益合計(金融費用控除後)	1,813.6	1,557.1
税引前当期純利益	237.7	361.6
当社株主に帰属する当期純利益	107.2	213.6
当社株主資本合計	2,294.4	2,513.7
ROE(%) <sup>1)</sup>	4.9%	8.9%
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(円)	29.04	57.57
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(円)	28.37	55.81
1株当たり株主資本(円)	618.27	676.15

## 四半期



項目	2014年3月期	2014年4月期	2015年1月期	2015年2月期	2015年3月期
収益合計	379.4	389.9	370.8	373.8	425.0
税引前当期純利益	86.9	88.6	51.7	74.0	116.1
当社株主に帰属する当期純利益	48.3	61.3	19.9	52.9	70.0
当社株主資本合計	2,492.5	2,513.7	2,467.7	2,561.1	2,714.4
ROE(%)	8.5%	8.9%	3.2%	5.7%	7.3%
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(円)	13.02	16.48	5.40	14.53	19.22
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(円)	12.65	16.02	5.26	14.15	18.72
1株当たり株主資本(円)	670.88	676.15	678.69	703.55	744.91

(1) 四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

連結損益

(10億円)	通期		四半期					
	2013年 3月期	2014年 3月期	2014年3月期		2015年3月期			
			3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
収益								
委託・投信募集手数料	359.1	474.6	121.4	89.9	96.3	112.1	<b>125.9</b>	
投資銀行業務手数料	62.4	91.3	15.8	27.2	19.8	20.6	<b>28.8</b>	
アセットマネジメント業務手数料	141.0	167.2	42.1	42.1	45.4	48.4	<b>50.6</b>	
トレーディング損益	368.0	476.4	108.5	129.2	158.6	129.0	<b>109.5</b>	
プライベート・エクイティ投資関連損益	8.1	11.4	11.0	-0.3	-0.3	0.5	<b>-0.2</b>	
金融収益	394.0	416.3	102.6	100.3	104.9	108.8	<b>115.6</b>	
投資持分証券関連損益	38.7	15.2	7.5	-5.2	6.3	2.9	<b>11.8</b>	
その他	708.8	179.5	38.5	67.7	31.1	28.5	<b>65.6</b>	
収益合計	2,079.9	1,831.8	447.4	450.8	462.2	450.8	<b>507.6</b>	
金融費用	266.3	274.8	68.0	60.8	91.3	77.0	<b>82.6</b>	
収益合計(金融費用控除後)	1,813.6	1,557.1	379.4	389.9	370.8	373.8	<b>425.0</b>	
金融費用以外の費用	1,575.9	1,195.5	292.5	301.4	319.2	299.8	<b>308.9</b>	
税引前当期純利益	237.7	361.6	86.9	88.6	51.7	74.0	<b>116.1</b>	
当社株主に帰属する当期純利益	107.2	213.6	48.3	61.3	19.9	52.9	<b>70.0</b>	

連結決算：主な収益の内訳

(10億円)	通期		四半期					
	2013年 3月期	2014年 3月期	2014年3月期		2015年3月期			
			3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
委託・投信 募集手数料	株式委託手数料(営業)	51.8	126.7	36.3	22.6	15.8	21.9	<b>27.0</b>
	株式委託手数料(その他)	112.9	139.8	34.9	35.6	34.3	36.9	<b>46.0</b>
	その他委託手数料	11.7	18.1	4.4	4.3	3.8	4.0	<b>6.1</b>
	投信募集手数料	150.1	157.8	37.7	19.3	30.5	37.5	<b>32.6</b>
	その他	32.6	32.1	8.3	8.2	11.9	11.8	<b>14.1</b>
	合計	359.1	474.6	121.4	89.9	96.3	112.1	<b>125.9</b>
投資銀行 業務手数料	株式	21.1	41.4	6.1	14.0	8.5	10.7	<b>14.5</b>
	債券	7.8	13.0	2.8	2.9	3.5	3.8	<b>1.9</b>
	M&A・財務コンサルティングフィー	25.6	25.0	4.4	7.6	5.7	5.2	<b>9.3</b>
	その他	7.7	12.0	2.4	2.6	2.1	0.9	<b>3.1</b>
	合計	62.4	91.3	15.8	27.2	19.8	20.6	<b>28.8</b>
アセット マネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	105.3	126.7	31.8	31.9	35.0	37.5	<b>39.4</b>
	アセット残高報酬	18.6	22.5	5.7	5.7	5.9	6.3	<b>6.4</b>
	カストディアルフィー	17.1	18.1	4.5	4.5	4.6	4.7	<b>4.8</b>
	合計	141.0	167.2	42.1	42.1	45.4	48.4	<b>50.6</b>

連結決算:セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)

連結決算数値とセグメント数値間の調整:税前利益(損失)

(10億円)	通期		四半期				
	2013年 3月期	2014年 3月期	2014年3月期		2015年3月期		
			3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業部門	100.6	192.0	47.7	23.3	31.6	38.9	<b>50.5</b>
アセット・マネジメント部門	21.2	27.1	8.9	5.3	8.3	7.8	<b>9.3</b>
ホールセール部門	71.7	111.8	27.8	33.5	5.7	22.2	<b>0.5</b>
3セグメント合計税前利益	193.5	330.9	84.4	62.1	45.6	68.9	<b>60.3</b>
その他	6.6	20.0	-3.7	34.2	2.6	2.5	<b>44.8</b>
セグメント合計税前利益	200.0	350.9	80.7	96.2	48.2	71.4	<b>105.1</b>
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	37.7	10.7	6.2	-7.7	3.5	2.6	<b>11.0</b>
税前利益	237.7	361.6	86.9	88.6	51.7	74.0	<b>116.1</b>

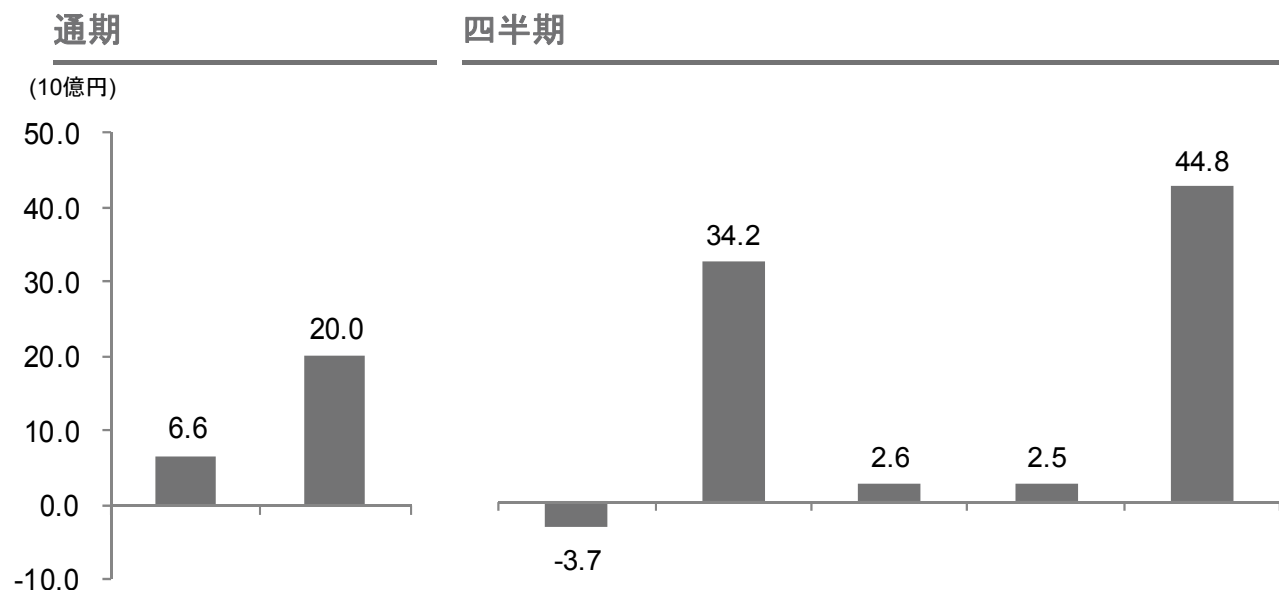
地域別情報:税前利益(損失)<sup>1</sup>

(10億円)	通期		四半期				
	2013年 3月期	2014年 3月期	2014年3月期		2015年3月期		
			3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
米州	25.7	29.5	8.0	31.2	6.1	-6.8	<b>-12.7</b>
欧州	-93.1	-48.9	-14.8	-10.1	-22.9	2.0	<b>-10.4</b>
アジア・オセアニア	-12.1	-5.2	-1.5	-5.2	-0.3	8.5	<b>16.2</b>
海外合計	-79.4	-24.7	-8.2	15.9	-17.1	3.7	<b>-7.0</b>
日本	317.2	386.3	95.1	72.6	68.8	70.3	<b>123.1</b>
税前利益	237.7	361.6	86.9	88.6	51.7	74.0	<b>116.1</b>

(1) 米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載(但し当第3四半期の数値は速報値)。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません

セグメント「その他」

税前利益(損失)



	通期		四半期				
	2013年 3月期	2014年 3月期	2014年3月期		2015年3月期		
			3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	1.0	17.4	5.2	6.5	6.9	2.2	6.4
営業目的で保有する投資持分証券 の実現損益	1.0	4.4	1.3	2.4	2.9	0.3	0.8
関連会社損益の持分額	14.4	28.6	8.2	6.2	3.5	8.0	18.2
本社勘定	17.7	-38.8	-14.0	-3.8	-3.1	-8.4	-3.2
その他	-27.5	8.4	-4.4	22.8	-7.6	0.5	22.6
税前利益(損失)	6.6	20.0	-3.7	34.2	2.6	2.5	44.8

営業部門関連データ(1)

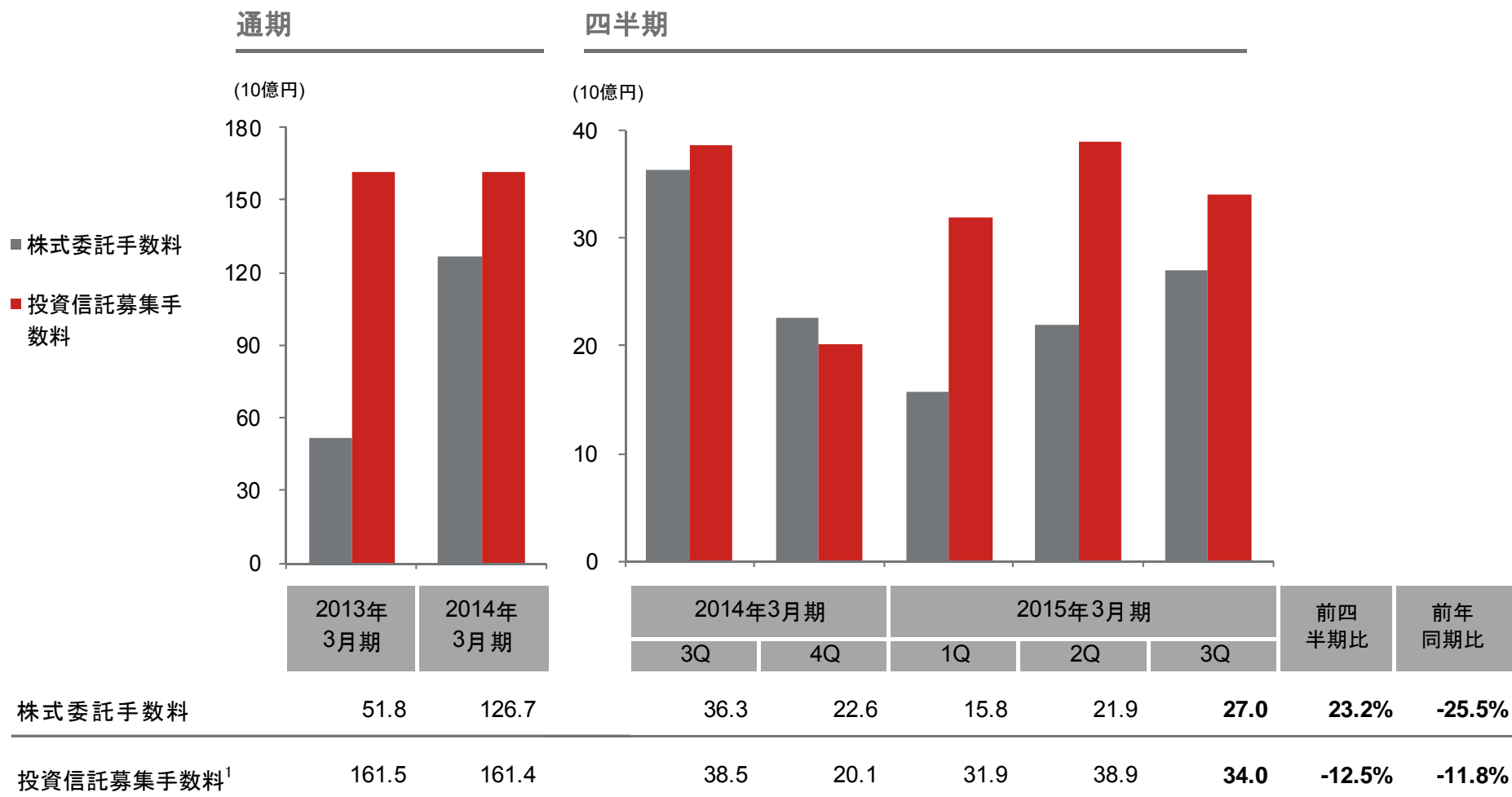
(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2013年 3月期	2014年 3月期	2014年3月期		2015年3月期				
			3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
委託・投信募集手数料	225.9	301.7	78.3	46.5	56.1	68.8	<b>72.2</b>	<b>4.9%</b>	<b>-7.9%</b>
販売報酬	80.9	106.1	25.7	26.4	25.0	25.9	<b>30.0</b>	<b>15.6%</b>	<b>16.6%</b>
投資銀行業務手数料等	36.8	40.3	8.0	9.1	9.1	6.7	<b>8.7</b>	<b>29.1%</b>	<b>7.9%</b>
投資信託残高報酬等	49.7	56.1	14.1	13.9	14.4	15.2	<b>16.5</b>	<b>8.8%</b>	<b>17.0%</b>
純金融収益等	4.6	7.7	1.8	1.9	2.3	1.3	<b>1.5</b>	<b>12.0%</b>	<b>-17.7%</b>
収益合計(金融費用控除後)	397.9	511.9	128.0	97.9	106.9	117.9	<b>128.8</b>	<b>9.2%</b>	<b>0.6%</b>
金融費用以外の費用	297.3	319.9	80.3	74.6	75.3	79.1	<b>78.3</b>	<b>-1.0%</b>	<b>-2.5%</b>
税前利益	100.6	192.0	47.7	23.3	31.6	38.9	<b>50.5</b>	<b>29.9%</b>	<b>5.9%</b>
国内投信販売金額 <sup>1</sup>	9,027.6	10,146.4	2,552.5	1,794.1	2,245.2	2,380.2	<b>2,516.7</b>	<b>5.7%</b>	<b>-1.4%</b>
公社債投信	2,719.2	3,146.3	810.2	768.2	795.3	743.9	<b>831.3</b>	<b>11.8%</b>	<b>2.6%</b>
株式投信	5,457.0	6,201.4	1,571.8	836.8	1,264.4	1,402.8	<b>1,405.4</b>	<b>0.2%</b>	<b>-10.6%</b>
外国投信	851.4	798.7	170.5	189.1	185.5	233.6	<b>280.0</b>	<b>19.9%</b>	<b>64.2%</b>
その他									
年金保険契約累計額(期末)	1,909.5	2,033.1	2,000.0	2,033.1	2,123.6	2,206.2	<b>2,305.2</b>	<b>4.5%</b>	<b>15.3%</b>
個人向け国債販売額 (約定ベース)	189.1	1,037.0	329.1	214.6	153.5	95.4	<b>84.0</b>	<b>-12.0%</b>	<b>-74.5%</b>
リテール外債販売額	1,485.8	1,595.6	318.6	386.6	363.9	276.3	<b>361.1</b>	<b>30.7%</b>	<b>13.3%</b>

(1) ネット&コール、ほっとダイレクトを除く



## 営業部門関連データ(2)

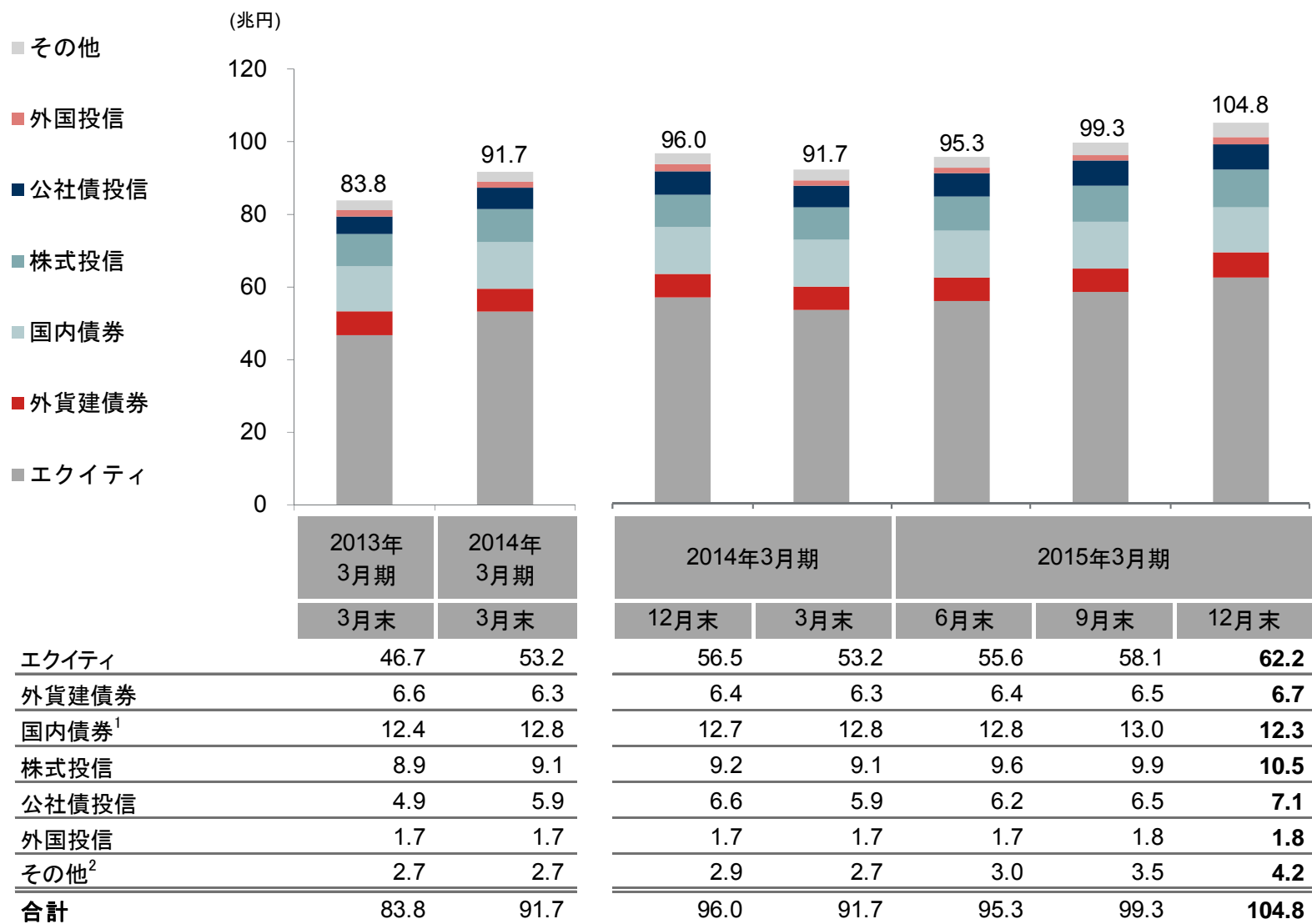
### 株式委託手数料と投資信託募集手数料



(1) 野村証券単体ベース

# 営業部門関連データ(3)

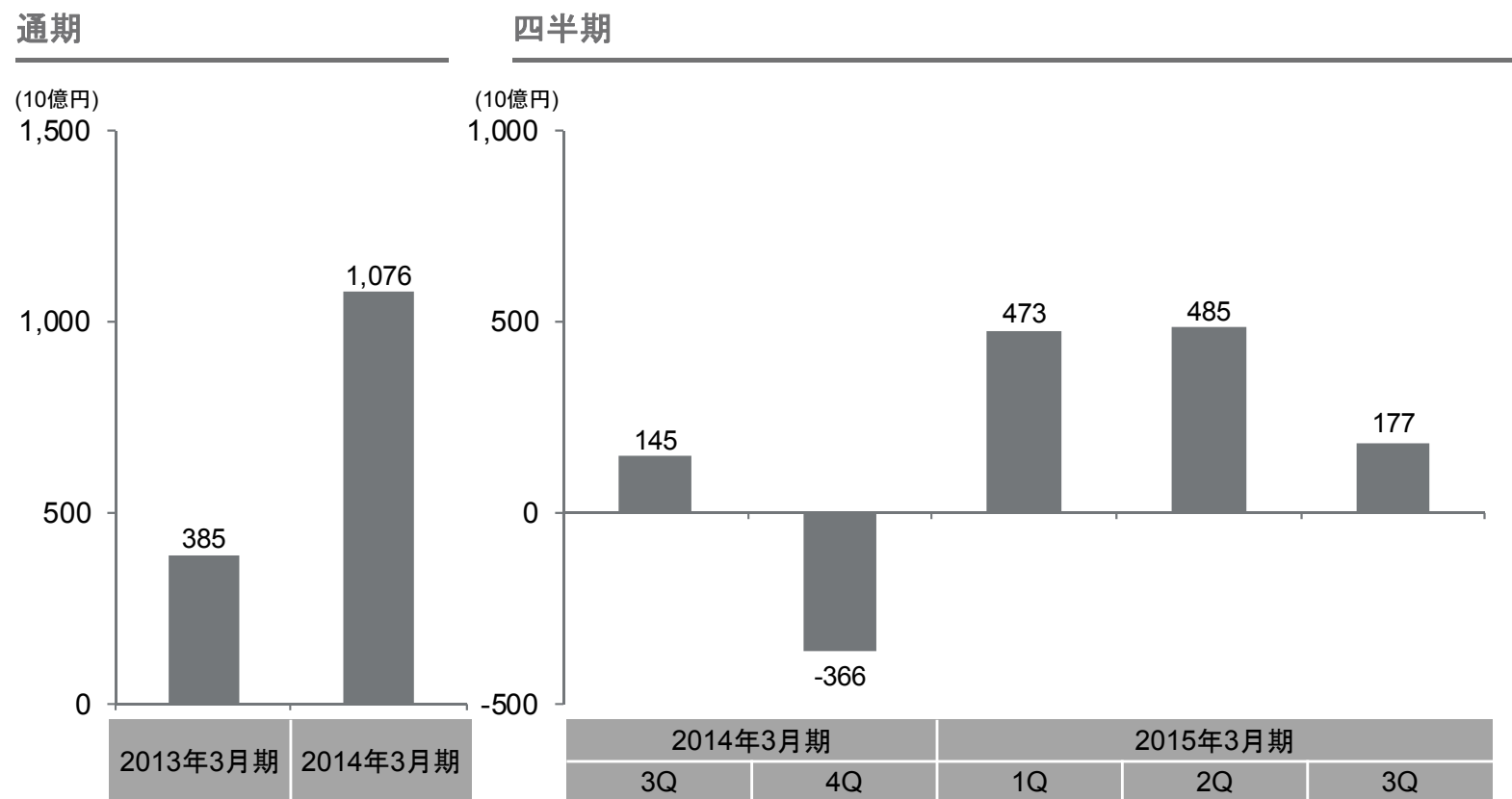
## 営業部門顧客資産残高



(1) CB・ワラントを含む  
 (2) 年金保険契約資産残高を含む

# 営業部門関連データ(4)

## 現金本券差引<sup>1</sup>



(1) 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

営業部門関連データ(5)

口座数

(千口座)	2013年3月期	2014年3月期	2014年3月期		2015年3月期		
	3月末	3月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
残あり顧客口座数	5,025	5,144	5,104	5,144	5,186	5,211	<b>5,238</b>
株式保有口座数	2,717	2,718	2,674	2,718	2,721	2,720	<b>2,723</b>
ホームトレード / ネット&コール口座数	3,747	4,012	3,939	4,012	4,053	4,103	<b>4,154</b>

個人新規開設口座数・IT比率<sup>1</sup>

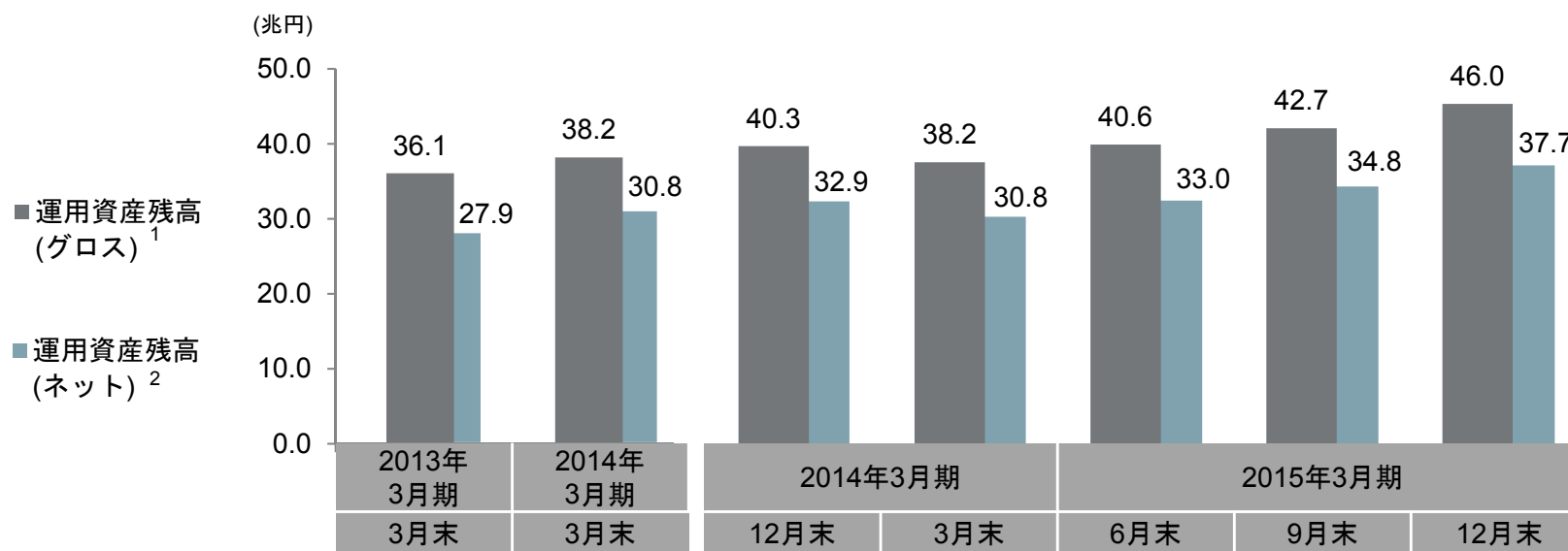
(千口座)	通期		四半期				
	2013年3月期	2014年3月期	2014年3月期		2015年3月期		
			3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
個人新規開設口座数	266	364	91	90	67	81	<b>77</b>
IT比率 <sup>1</sup>							
売買件数ベース	55%	58%	54%	60%	60%	60%	<b>58%</b>
売買金額ベース	31%	33%	27%	37%	36%	37%	<b>37%</b>

(1) 現物株のうち、ホームトレードを通じて売買された割合

# アセット・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2013年 3月期	2014年 3月期	2014年3月期		2015年3月期				
			3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
収益合計(金融費用控除後)	68.9	80.5	21.2	20.5	23.3	21.7	23.4	8.1%	10.5%
金融費用以外の費用	47.8	53.4	12.3	15.1	15.1	13.9	14.1	1.5%	14.7%
税前利益	21.2	27.1	8.9	5.3	8.3	7.8	9.3	19.7%	4.7%

## アセット・マネジメント部門 運用資産残高



(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計  
 (2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

## アセット・マネジメント部門関連データ(2)

### アセット・マネジメント部門 運用資産残高(グロス)<sup>1</sup>—ビジネス別

(兆円)	2013年	2014年	2014年3月期		2015年3月期		
	3月期	3月期	2014年3月期		2015年3月期		
	3月末	3月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
投資信託ビジネス	26.5	28.4	29.4	28.4	29.6	31.3	<b>33.9</b>
投資顧問ビジネス	9.6	9.8	10.9	9.8	11.0	11.4	<b>12.1</b>
運用資産残高(グロス) <sup>1</sup>	36.1	38.2	40.3	38.2	40.6	42.7	<b>46.0</b>

### 運用資産残高—会社別

(兆円)	2013年	2014年	2014年3月期		2015年3月期		
	3月期	3月期	2014年3月期		2015年3月期		
	3月末	3月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
野村アセットマネジメント	30.7	33.8	36.0	33.8	36.2	38.3	<b>41.2</b>
野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー	2.9	2.6	2.6	2.6	2.5	2.6	<b>2.9</b>
ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント	1.8	1.6	1.6	1.6	1.7	1.6	<b>1.6</b>
野村プライベート・エクイティ・キャピタル	0.7	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	<b>0.2</b>
運用資産残高(グロス) <sup>1</sup>	36.1	38.2	40.3	38.2	40.6	42.7	<b>46.0</b>
グループ会社間の重複資産	8.2	7.4	7.5	7.4	7.6	7.9	<b>8.3</b>
運用資産残高(ネット) <sup>2</sup>	27.9	30.8	32.9	30.8	33.0	34.8	<b>37.7</b>

(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタルの運用資産の単純合計  
 (2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後  
 (3) 運用資産残高(ネット)に基づく資金流出入額  
 (4) 出所:投資信託協会

### アセット・マネジメント部門 資金流出入—ビジネス別<sup>3</sup>

(10億円)	通期		四半期				
	2013年	2014年	2014年3月期		2015年3月期		
	3月期	3月期	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
投資信託ビジネス	1,099	1,598	962	-319	473	879	<b>1,124</b>
うちETF	424	882	89	501	-23	90	<b>298</b>
投資顧問ビジネス	-529	-520	226	-938	27	-44	<b>-46</b>
資金流出入 合計	570	1,078	1,189	-1,257	500	835	<b>1,078</b>

### 国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア<sup>4</sup>

(兆円)	2013年	2014年	2014年3月期		2015年3月期		
	3月期	3月期	2014年3月期		2015年3月期		
	3月末	3月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
国内公募株式投信残高							
マーケット	60.0	65.7	65.0	65.7	68.8	71.7	<b>77.1</b>
野村アセットマネジメントシェア	18%	19%	19%	19%	18%	19%	<b>19%</b>
国内公募公社債投信残高							
マーケット	12.6	14.5	16.5	14.5	14.8	15.4	<b>16.4</b>
野村アセットマネジメントシェア	43%	42%	43%	42%	43%	43%	<b>43%</b>

# ホールセール部門関連データ(1)

## ホールセール部門

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2013年 3月期	2014年 3月期	2014年3月期		2015年3月期				
			3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
収益合計(金融費用控除後)	644.9	765.1	188.7	198.5	188.9	190.6	<b>178.9</b>	-6.1%	-5.2%
金融費用以外の費用	573.2	653.3	160.9	165.0	183.1	168.4	<b>178.5</b>	6.0%	11.0%
税前利益	71.7	111.8	27.8	33.5	5.7	22.2	<b>0.5</b>	-98.0%	-98.4%

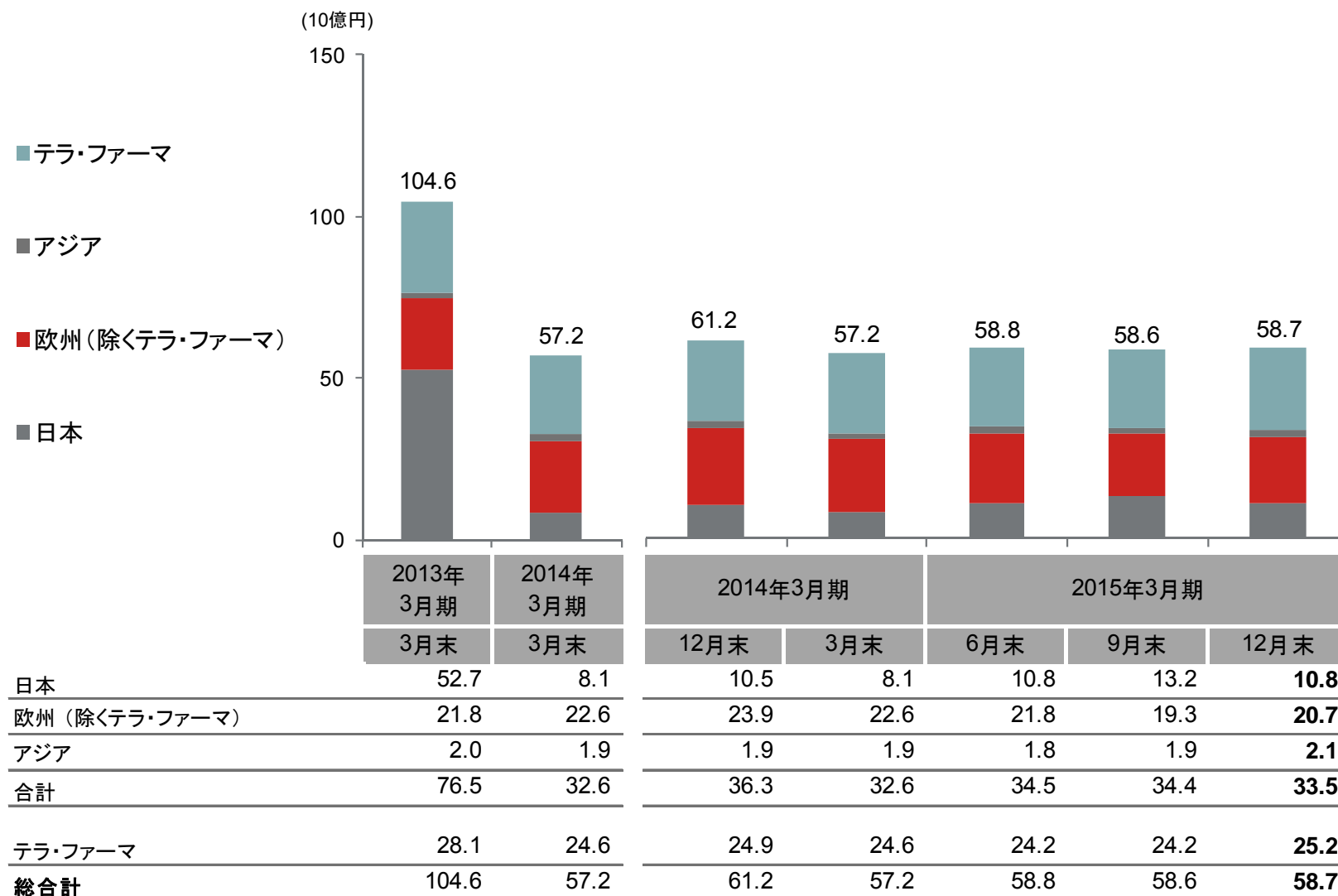
## ホールセール部門 収益の内訳

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2013年 3月期	2014年 3月期	2014年3月期		2015年3月期				
			3Q	4Q	1Q	2Q	3Q		
フィクスト・インカム <sup>1</sup>	387.7	398.2	99.2	107.7	104.5	104.1	<b>76.3</b>	-26.7%	-23.1%
エクイティ <sup>1</sup>	172.8	251.5	58.8	59.0	62.0	64.0	<b>73.5</b>	14.8%	24.9%
グローバル・マーケット	560.4	649.7	158.0	166.8	166.6	168.1	<b>149.7</b>	-10.9%	-5.2%
インベストメント・バンキング(ネット)	72.0	97.4	19.0	29.5	22.8	22.5	<b>29.6</b>	31.6%	55.6%
その他	12.4	18.0	11.7	2.2	-0.4	0.0	<b>-0.4</b>	-	-
インベストメント・バンキング	84.4	115.4	30.7	31.7	22.3	22.5	<b>29.2</b>	29.8%	-4.7%
収益合計(金融費用控除後)	644.9	765.1	188.7	198.5	188.9	190.6	<b>178.9</b>	-6.1%	-5.2%
インベストメント・バンキング(グロス)	143.0	184.3	35.9	55.4	43.2	40.7	<b>52.7</b>	29.3%	46.6%

(1) 2013年4月の組織改正に伴い、2013年3月期のフィクスト・インカムおよびエクイティを組み替えて表示

## ホールセール部門関連データ(2)

### プライベート・エクイティ関連投資残高





人員数

	2013年	2014年	2014年3月期		2015年3月期		
	3月期	3月期	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
	3月末	3月末					
日本(FA除く)	14,123	14,149	14,308	14,149	14,559	14,391	<b>14,290</b>
FA社員	1,907	1,888	1,918	1,888	1,889	1,853	<b>1,853</b>
欧州	3,618	3,461	3,456	3,461	3,481	3,530	<b>3,539</b>
米州	2,271	2,281	2,248	2,281	2,335	2,421	<b>2,445</b>
アジア・オセアニア <sup>1</sup>	6,037	5,891	5,902	5,891	6,656	6,744	<b>6,762</b>
<b>合計</b>	<b>27,956</b>	<b>27,670</b>	<b>27,832</b>	<b>27,670</b>	<b>28,920</b>	<b>28,939</b>	<b>28,889</b>

(1) インド(ボワイ・オフィス)を含む

## Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2015年3月期第3四半期の業績に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<http://www.nomura.com>)、EDINET(<http://info.edinet-fsa.go.jp/>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<http://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.  
[www.nomura.com/jp/](http://www.nomura.com/jp/)